

平成 19 年度

TOKYO X-Association 臨時総会

日時 平成 19 年 9 月 4 日(火) 午後 2 時

場所 (財)東京都農林水産振興財団
東京都農林総合研究センター 本館会議室

住所 東京都立川市富士見町 3-8-1

TOKYO X-Association
会長 植村 光一郎

平成19年 臨時総会次第

日時 平成19年9月4日(火) 午後2時
場所 財団法人 東京都農林水産振興財団
東京都農林総合研究センター

次 第

1. 開会 PM 2:00

2. Tokyo X-Association 会長挨拶
株式会社 ミートコンパニオン 植村 光一郎

3. 来賓挨拶
財団法人 東京都農林水産振興財団 事業課長 柴田修一 様

4. 議案審議
第一号議案 TOKYOX 豚価の改定について
TOKYOX 生産組合の生産事業の現状
共同生産出荷に関する協議事業の反省
共同生産出荷に関する協議事業改善対策
値上げによるリスクの削減対策

議案通り承認されました。

第二号議案 TOKYOX 規約の改定について
第18条1項の改定

議案通り承認されました。

第三号議案 その他

休憩

5. ユビキタス推進協議会の事業について

第一号議案

TOKYOX の価格改定について

1、TOKYO 生産組合の生産事業の現状

- *8月の出荷頭数は昨年出荷実績の棚卸表よりシュミレーションした場合、71%の出荷実績。
- *青梅畜産センターの生産計画は順調だが、都内外生産の目標数値に大幅な減少が発生。
- *飼料価格高騰と生産効率のリスクが、生産原価に反映されていない。生産意欲の欠如と将来に対する不安。
- *H18年度は目標数値の83%今期は66%になる可能性がある。

2、TOKYOX 共同生産出荷に関する協議事業の反省

- *事業計画の TOKYOX 共同生産出荷に関する協議の不履行。
- *「生活に根ざしたブランド化」の推進のため、生産原価の対応をしておこなったことによる生産意欲の欠如。
- *生産農家の生産効率を販売側からフィードアップできていない。
- *仕上げ飼料があるのに、育成飼料の管理基準が認定されておらず格外になる豚がいる。
- *生産資源（原種豚）の効率活用が行われていない。

3、TOKYOX 共同生産出荷に関する協議事業改善対策

- *TOKYOX 共同生産出荷に関する協議の積極活動
(東京都、財団本部、青梅畜産センター、TOKYOX 生産組合、TOKYOX-Association)
- *価格の見直しを行い、生産意欲の高揚を図る。
(@1302/kg 案)
- *生産会議に出席し肉質の改善改良に協力を行う。
- *育成飼料の認定に協力し肉質による格落ちを撲滅する。
- *生産スキルの高い農家に優先出荷を行い、生産資源の効率活用を行う。

4、値上げによるリスクの削減対策

- *生産会議に出席し肉質の改善改良を行う。
- *育成飼料の認定で肉質のばらつきを無くす。
- *ユビキタスシステムの導入実施で安心安全のアピール活動。
- *アニマルウェルフェアの確立とアピール活動。
- *08年の米国産牛肉30ヶ月解禁による、食肉供給過程の対応に向けブランド構築のあらゆる対策を講じる。

価格改定について

枝肉引取り価格 647 円/kg
正肉歩留まり 60%～62%

$$647 \text{ 円/kg} \div 0.6 (60\%) + 122 \text{ 円/kg} + 12 \text{ 円/kg} = 1212 \text{ 円/kg}$$

↓

改定後

枝肉引取り価格 700 円/kg

$$700 \text{ 円/kg} \div 0.6 (60\%) + 122 \text{ 円/kg} + 13 \text{ 円/kg} = 1302 \text{ 円/kg}$$

第二号議案

TOKYOX 規約の改定について

第18条 この会の経費は、次のものをもって充てる。

(1) 会費

正肉納入単価の1パーセントに当たる1キログラム当たり12円を納入金に付加して徴収する。

↓

改定後

第18条 この会の経費は、次のものをもって充てる。

(1) 会費

正肉納入単価の1パーセントに当たる1キログラム当たり13円を納入金に付加して徴収する。

第三号議案

その他

TOKYOX 共同生産出荷に関する協議事業

価格改定の実施計画(案)

価格の設定

1212 円/kg→1302 円/kg

実施時期

2007 年 10 月 1 日

リスク削減対策

育成時期の飼料の認定システム導入による、更なる品質向上

ユビキタスシステム導入による、安心安全の提示

アニマルウェルフェアの確立とアピール